西宮文化協会
会報
令和八年九月
通巻七〇二号

(1) 十月行事 文化講演会
(2) 今月のオススメ展覧会 (森田正樹)
(3) 同 右
(4) 「かんのん道」 (牛田孝次)
(5) 同 右
(6) Art Pageant TSUCHIGUMO 能「土蜘蛛」(森村曉子)
(7) 同 右
(8) 十一月行事 秋の見学会・「小西印刷所」

十月行事　文化講演会
阪神間の弥生時代
―コメつくりが始まってから卑弥呼の時代まで―

一、**日　時**　十月二十日（火）十三時三十分～十五時
一、**会　場**　西宮神社会館
一、**演　題**　「阪神間の弥生時代
　　―コメつくりが始まってから
　　卑弥呼の時代まで―」
一、**講　師**　大阪府立弥生文化博物館
　　館長　禰冝田 佳男　氏
一、**定　員**　五十名
一、**参加費**　会員：無料、一般：五百円
一、**申込み**　西宮文化協会事務局（西宮神社内）
　　電話　０７９８・３３・０３２１



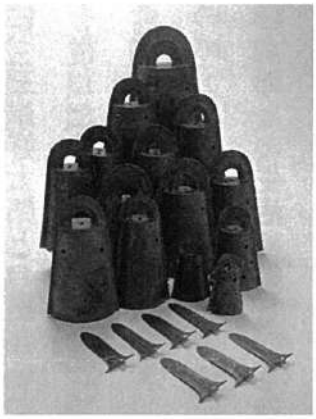
●講師紹介

・兵庫県西宮市生まれ
大阪大学文学部卒業
博士（文学）
・大阪府立弥生文化
博物館館長
・関西学院大学
非常勤講師等

主著『農耕文化の形成と近畿弥生社会』、
『研究最前線邪馬台国　いま何がどこまで言えるのか』等

●講演内容

今から二八〇〇年ほど前、私たちの主食であるコメをつくり始め、社会は大きく変わりました。そして、紀元二〇〇年頃には倭国に女王卑弥呼が即位し、当時の先進地である魏から「親魏倭王」という位が与えられました。この一〇〇〇年余りが弥生時代です。弥生時代には土地や水をめぐる争いや天変地異（地震・洪水・寒冷化など）が起こり、けっして穏やかな時代ではありませんでした。



神戸市　国宝桜ヶ丘銅鐸
（文化遺産オンラインより）

阪神間には多くの弥生遺跡があります。みなさんの家の近くおこなわれた発掘調査の成果をとおして、弥生時代の阪神間でおこった出来事をみていきたいと思います。

予告

十一月行事 秋の見学会（バスツアー）
〈陶芸の郷〉丹波篠山と播州清水寺

今年の秋の見学会は陶芸で名高い丹波篠山方面に向かいます。文化施設で丹波焼や陶芸について学び、その後は少し足を伸ばして播州清水寺も巡ります。

一、**日　時**　十一月五日（木）八時四十五分　西宮神社集合
※雨天決行　　十七時十五分　同神社着予定

一、**行　程**　①丹波伝統工芸公園 立杭陶の郷、②兵庫陶芸美術館、③昼食：レストラン虚空蔵（同美術館内）、④播州清水寺、⑤道の駅とうじょう（お買物）

一、**定　員**　二十五名

一、**参加費**　（食費込・パスタと陶板焼き）
会員：一万二千円
一般：一万三千円（会員の同伴者のみ）
※当日、集合時に現金にてお支払いいただきます。

一、**申込み**　西宮文化協会事務局（西宮神社内）
電話　０７９８・３３・０３２１

一、**申込締切**　十月二十五日（日）

※詳細は次号（十月号）にてご紹介致します。本号では一足先に日程と概要のみのご案内となりますが、お申込みは可能です。



立杭陶の郷の登窯



播州清水寺

KONISHI
株式会社 小西印刷所
「お客様のお役に立つ」をモットーに
印刷・WEBデザイン・システム開発・電子書籍など
様々なコンテンツ制作をご提案いたします。
http://www.konishi-p.co.jp/
小西印刷所 検索
〒663-8225
西宮市今津西浜町2番60号
TEL：0798-33-0691
FAX：0798-35-1333

西宮文化協会　会報　第七〇二号
発行日　令和八年 九月 一日
発行者　西宮文化協会 会長 吉井良昭
〒六六二-〇九七四 西宮市社家町一の十七 西宮神社内
電　話　０７９８・３３・０３２１
ＦＡＸ　０７９８・３３・５３５５
E-mail：koho@nishinomiya-ebisu.com
印刷所　株式会社 旭プリント